

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：4月ユーロ圏消費者物価（速報）

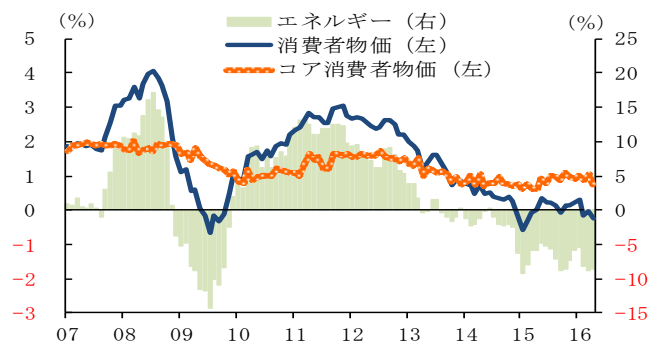
発表日：2016年5月2日（月）

～コアもエネルギーも反発が弱い～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

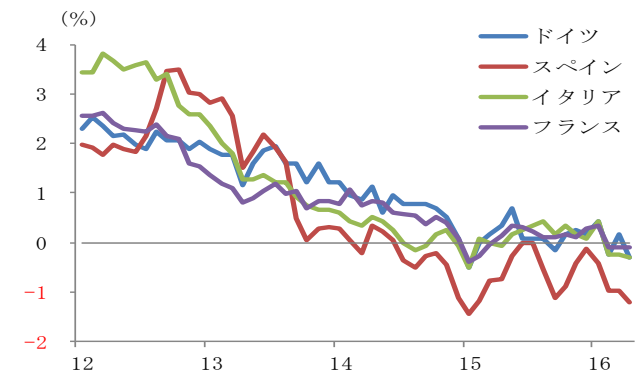
- 4月のユーロ圏の消費者物価の速報値（4月29日発表）は前年比▲0.2%と3ヵ月連続で前年割れ。速報段階で公表されている内訳は、エネルギー価格（前月：同▲8.7%→今月：同▲8.6%）が前月並みの下落率を記録するなか、コア物価（同+1.0%→同+0.7%）の上昇率が鈍化。食料・アルコール・たばこ価格（同+0.8%→同+0.8%）は前月から不変。発表済みの国別の消費者物価（ベルギーを除いてEU統一基準）は、ドイツ（同+0.1%→同▲0.3%）が再びマイナスに転落、スペイン（同▲1.0%→同▲1.2%）とイタリア（同▲0.2%→同▲0.3%）で下落率が拡大し、ベルギー（+2.2%→同+2.0%）で上昇率が鈍化、フランス（同▲0.1%→同▲0.1%）が前月と同じ下落率にとどまった。
- コア物価の詳細は5月18日に公表される確報値を待たなければならないが、現時点で入手可能なドイツの速報値などから判断して、イースター休暇時期の関係で前月の計数を押し上げたパッケージ旅行の上振れが剥落した模様。コア物価は過去12ヶ月で最も弱い伸び率にとどまり、ディスインフレ基調を断ち切るには至っていない。また、足許の原油先物価格の反転上昇にもかかわらず、エネルギー価格の反発も弱い。季節調整前の前月比で2ヶ月連続で上昇したものの、今月は前月比+0.2%の微増。過去3ヶ月で3割以上も上昇したブレント先物価格のパススルーはほとんど確認されない。今後徐々に反映されるとみられるが、コア物価の緩慢な推移と相俟って、物価の反転時期を後ズレさせる要因。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く  
 出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国の消費者物価（統一基準、前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2015			2016			2015				2016			
	2Q	3Q	4Q	1Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
消費者物価（前期比）	0.5	0.0	-0.1	-0.4	-0.1	0.1	-0.0	-0.2	-0.2	-0.1	0.3	-		
（前年比）	0.2	0.1	0.2	0.0	-0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	-0.2	-0.0	-0.2		
コア消費者物価（前年比）	0.8	0.9	1.0	1.0	0.9	1.1	0.9	0.9	1.0	0.8	1.0	0.7		
食料/アルコール/たばこ（前年比）	1.1	1.2	1.4	0.8	1.4	1.6	1.5	1.2	1.0	0.6	0.8	0.8		
食料（前年比）	0.8	0.9	1.3	0.6	1.2	1.4	1.3	1.0	0.7	0.4	0.6	-		
アルコール（前年比）	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	0.5	0.9	0.8	1.0	1.0	0.6	-		
たばこ（前年比）	3.1	3.4	3.0	2.2	3.3	3.1	2.9	2.9	2.7	1.9	1.9	-		
エネルギー（前年比）	-5.3	-7.2	-7.2	-7.4	-8.9	-8.5	-7.3	-5.8	-5.4	-8.1	-8.7	-8.6		

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。